

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
17137 (17135)	仏語特演A (仏語V)	2単位 前期	1~4	講義	ムートン・ジスラン (非)

■テーマ

中級フランス語をマスターし、フランス・フランス語圏の文化、時事、文学、歴史に触れる。

■授業の概要

フランス語中級の講義。各受講生の専門分野の必要に対応すべく、フランス語の資料の読み込みに取り組み、フランス語の正確な読解・文法能力・発音を養成する。基礎を復習しながら、歴史、社会、産業、文化、教育、芸術、スポーツ等々、さまざまな分野の興味深いトピックを通して、言葉の背景にある社会や文化の多様な広がりや自然に学ぶ。詳しいプログラムは登録した学生との面談で決める。

■到達目標

- ・中級フランス語の文法、読解・発音を身につける。
- ・複文化・複言語主義社会で活躍するグローバル人材にとっては直接必要となるフランス語の内容の理解や、朗読、発音の技術を身につけることを目標とする。また美術の学生にもフランス文芸の理解の一助となることを目標とする。

■授業計画・方法

(授業計画、取り上げる作品は、受講者の専門分野の資料等、協議の上で決定。下記の授業計画は一例である)

1. オリエンテーション 複文化・複言語主義とは？
2. フランスの標語 1/2
3. フランスの標語 2/2
4. 2020年には観光客1億人？ 1/2
5. 2020年には観光客1億人？ 2/2
6. 働きすぎてはいけない 1/2
7. 働きすぎてはいけない 2/2
8. 自由の女神 1/2
9. 自由の女神 2/2
10. 人種差別 1/2
11. 人種差別 2/2
12. 映画鑑賞+解説
13. オリンピズムについて
14. 期末試験前の模擬試験
15. 定期試験及び解説・まとめ

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・授業の内容は、受講生のレベルやニーズに合わせて変更することがある。
- ・仏語Ⅲ、Ⅳ履修済みが望ましいが、担当教師との面談で外国語科目段階的履修免除、または仏語Ⅲ、Ⅳ同時履修も可。各自の授業への積極的な参加を求む(勉強したい作品を提示)。
- ・教室外で「フランス語に触れる機会」に興味があることが望ましい(講義中はアプリやSNSの使用の効率化を指導)。
- ・授業の準備、テキストを前もって自分なりに読みといておく。

■成績評価の方法・基準

□方法 期末テスト50%、発音の正確さを図る中間テスト20%、授業への積極的参加30%

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

フランス語の正確な読解・発音・文化、芸術への考察力

■教科書・参考文献(資料)等

□教科書 『時事フランス語 - 2020年版』石井洋二郎/ミシェル・サガズ 朝日出版

ISBN: 978-4-255-35313-5